



特別レポート、「目前に迫った市場の急騰と急落」

を本日午後から協賛金にご協力下さった皆様にメール又は FAXにてお贈ります。

Mr. Jim Rickards 氏の書き下ろし The Big Drop(ビッグドロップ・大暴落)は 400 ページ以上の大作の為要約の作成にはまだ時間が必要です。

出来次第お送りしますのでご期待下さい。

パリ(欧州通信社パーティー)、エズ(ロスチャイルド家)、モナコ(法務大臣とサウジの対カタール断交の真実)の旅を通して、私の見方が正しかったことや又思いもよらぬ真実を知ることが出来ました。

先進国も新興国も金融政策は限界に達し、又財政政策は現在潜在的破綻状態の為財政出動もままならぬ状態です。

金融、財政政策が限界に陥っているにも関わらず、多少の調整はあっても株価が最高値圏を維持しているのは中央銀行の市場操作(ゼロ又はマイナス金利政策)によるものであり又連続赤字国債発行で財政破綻を先送りしているに過ぎません。

FRB をコントロールしている金融資本は世界経済と市場の秩序を守る為投資家の被害を最小限に押さえる形での大暴落(The Big Drop)を計画しています。

仮に明日ニューヨーク市場が大暴落すればダウ平均は現在の 21,000ドルから 10,000ドルに急落し、2.1 万ドルの時価総額を持つ投資家の金融資産は 1 万ドルに半減します。

もし投資家が新規資本をつぎ込むことなく含み益を含む時価を連続回転しているうちにダウ平均が 4 万ドルになったとするなら、例えその後大暴落でダウ平均が 2 万ドルになっても失うのはバブル分の 2 万ドルです。

暴落は決して気分のいいものではありませんが、現在をベースに考えてみればダウ平均 4 万ドルからの暴落は被害がないも同然となります。

6月14日の FOMC(連邦公開市場委員会)の後、「市場に出来るだけインパクトを与えないよう配慮して利上げと資産削減を計画通り行いたい」とイエレン FRB 議長は述べていますが、実に含みのある言葉です。

イエレン議長は今まで禁じられていた FRB の株式購入解禁を議会に求めています、議会承認されれば、これが起爆剤になって株価は跳ね上がることになります。

ニューヨークダウ平均 4 万ドルと直後の大暴落は限界に達した現行国際金融・財政システムを終焉に導き 2025 年の金本位制移行へ向けての FRB の必要な戦略と考えられます。

FRB は何時ダウ平均 4 万ドル作戦を開始し、何時市場に大暴落をもたらすか、特別レポートをご参照下さい。

増田俊男の「目からウロコのインターネット・セミナー」大好評配信中！

1ヶ月わずか約¥1,000！ご契約は1年単位になります

現在大好評配信中！「目からウロコのインターネット・セミナー」！視聴期間はお申込み翌月より 12ヶ月となりますのでお申込み月は無料でご視聴頂けます。1か月の平均配信回数は 4~6回になります。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : www.chokugen.com) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。